

带状疱疹予防接種(説明書)

川島町健康福祉課健康増進グループ

＜注意＞接種を受ける前に必ずお読みになり、ご理解のうえ接種を受けてください。

1 带状疱疹とは

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

2 带状疱疹ワクチンとは

带状疱疹ワクチンには生ワクチン、不活化ワクチンの2種類があり、接種回数や接種方法、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

	生ワクチン	不活化ワクチン
種類	乾燥弱毒生水痘ワクチン 販売名「ビケン」	乾燥組換え带状疱疹ワクチン 販売名「シングリックス」
ワクチンの予防効果	接種後1年時点 6割程度 接種後5年時点 4割程度 接種後10年時点 ー	接種後1年時点 9割以上 接種後5年時点 9割程度 接種後10年時点 7割程度
带状疱疹後神経痛 のワクチンの効果	接種後3年時点 6割程度	接種後3年時点 9割以上
接種方法	1回接種(皮下に接種)	通常、2か月以上の間隔を置いて2回接種(筋肉内に接種) ※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。

3 予防接種を受けることができない方

- ①接種日当日、明らかに発熱のある方
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ③带状疱疹ワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな方
- ④その他、医師が不適当な状態と判断した場合

上記の①～③に該当しなくても、医師が接種不適当と判断した時は接種できません。

4 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない方

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- ②予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方
- ③けいれんをおこしたことがある方
- ④免疫不全と診断されている方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤带状疱疹ワクチン(生ワクチン、不活化ワクチン)の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方

5 带状疱疹ワクチンの安全性

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、不活化ワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン(阪大微研)	不活化ワクチン(GSK 社)
70%以上	—	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤* 筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感* 腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹* 悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛

* ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚労省にて作成

6 接種を受けた後の注意点

ワクチンの接種後 30 分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。

注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。

当日の激しい運動は控えるようにしてください。

7 予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込む時は、川島町役場健康福祉課 健康増進グループまでご相談ください。



【問い合わせ】

川島町役場 健康福祉課 健康増進グループ

電話 049-299-1758

